

【米田主宰の俳句】

何擱む

米田規子

ともしびの遠くにひとつ二月尽
紅梅白梅ときめきが足りなくて
春雨やふつとひと息木曜日
スイートピーこれから叶うこといくつ
春の夢母とむすめとその娘
がたんごとんとトロの森へ春の月
三月のざわざわぐらり何擱む
永き日を行きて戻りぬ亀の首
落椿その後の彼女しあわせか
芽柳の風の曲線詩をつむぎ